

「天然ガスパイプラインのすすめ」 ～購読のご案内～

地球温暖化防止の対策として化石燃料の中では最も CO₂ 排出原単位が小さい天然ガスの利用拡大が注目されています。現状、日本への天然ガスの輸入はすべて LNG に頼っています。一方、中国、韓国、ロシアなどは天然ガスパイプライン網を整備し、強固な天然ガス供給体制を構築しつつあります。このような中、わが国でも天然ガスパイプラインのあり方に関して議論がなされています。

日本エネルギー学会の天然ガス部会輸送・貯蔵分科会では天然ガスパイプラインに関する内外の敷設状況やこれまでの歴史、並びに関連の技術などについて勉強会を重ね、その成果を総説として日本エネルギー学会編集による単行本「天然ガスパイプラインのすすめ」として 2011 年 2 月に発行することにいたしました。本書は天然ガスパイプラインに関する現状理解に役立つものになると思います。

< 予定目次 >

第 1 章 何故今、天然ガスなのか？

資源的、エネルギー戦略的視点 / 天然ガスの価格と経済性 / 非在来型ガス資源のポテンシャル / 地球環境にやさしい天然ガス

第 2 章 我が国の温室効果ガス 25%削減政策とガスパイプライン

温室効果ガス削減の可能性 / 産業、民生、運輸部門別エネルギー消費と CO₂ 排出量の予測 / ガスパイプラインの CO₂ 削減への貢献度 / 25%削減の経済的影響

第 3 章 パイプラインを巡るジオポリティックス

地政学の起源と輸送問題 / 何故パイプライン敷設にジオポリティックスが働くのか？ / ロシアとウクライナのガス紛争 / カスピ海周辺のパイプライン供給を巡るジオポリティックス / 中国への天然ガス供給を巡るロシアと中央アジア諸国との駆け引き

第 4 章 天然ガスパイプラインの発達の歴史と現況の展望

天然ガスパイプライン発達形態の歴史 / 米国の国際パイプラインの現況と展望 / 欧州の国際パイプラインの現況と展望 / 北東アジアの国際パイプラインの現況と展望 / 東南アジアの国際パイプラインの現況と展望

第 5 章 天然ガスパイプラインと LNG の輸送技術

天然ガスの輸送技術 / LNG 受入基地の発達形態の歴史 / LNG の海上輸送 / LNG 受入基地と貯蔵タンク / 幹線パイプラインの建設 / 天然ガスの地下貯蔵の概要

第 6 章 日本の天然ガス供給インフラの発達形態

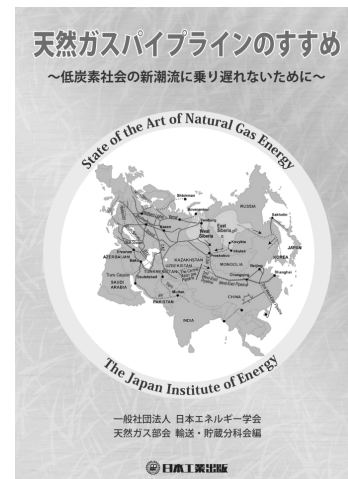
社会的共通資本としての天然ガスパイプライン / 日本における供給インフラ整備 / 天然ガス輸送手段における輸送コスト

第 7 章 日本の天然ガスパイプライン施策の経緯

政策当局のパイプラインに対するスタンス / 天然ガスパイプライン政策に求められる事項 / 国内広域天然ガスパイプライン整備のケーススタディ / 民間研究機関の国土幹線ガスパイプライン構想 / 天然ガス需給インフラの一試案

第 8 章 天然ガスパイプラインの提言

LNG と天然ガスパイプラインとのベストミックス / 提言に添えて 歴史の先人に学ぶ「社会インフラ整備は国家大計なり」



書名：天然ガスパイプラインのすすめ

編集：一般社団法人日本エネルギー学会 天然ガス部会 輸送・貯蔵分科会

編集委員長：藤田和男部会長、副委員長：湯浅和昭分科会長、吉武博二編集幹事、奥田誠部会幹事

発刊：日本工業出版社

体裁：B5 判 約 260 頁

価格：2011 年 3 月 1 日発行 税別 2,500 円（送料別途 100 円）

日本エネルギー学会・会員特別価格 税別 2,200 円（送料含む）

「天然ガスパイプラインのすすめ」

お申し込み FAX 03-3944-0389

勤務先			
ご住所	〒		
ご氏名		ご所属	
TEL		FAX	
申込部数	2,200 円(会員価格) ×	部 =	円(プラス税)

お問合せ：日本工業出版社販売課 TEL0120-974-250、FAX 03-3944-0389 E-mail sale@nikko-pb.co.jp